

# 政策5

集い つながり 活気あふれるまち

<産業分野>

---

---


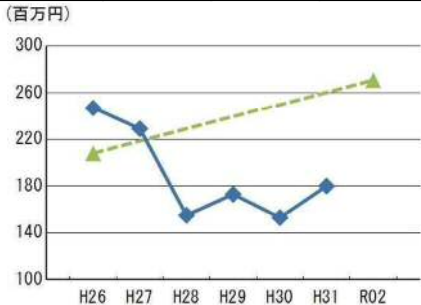
政策 05 集い つながり 活気あふれるまち


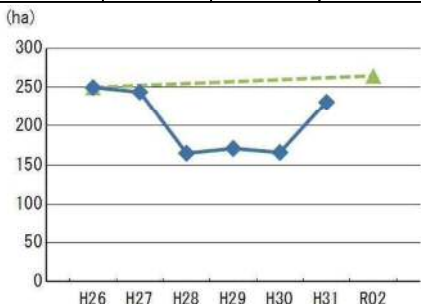
施策 01 農業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市内の農業者	農業生産額が増加しています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	農業総生産額			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき															
	社会	業務取得	上がると良い																					
			農政課	百万円	208	153	180	271	 (低下)															
評価	(状況) 平成31年度(平成29年度実績)は1億80百万円で、平成30年度(平成28年度実績)より27百万円増加しましたが、後期基準値より28百万円減少しています。 (原因) 平成31年度指標値(平成29年度実績)は、「米の生産数量目標」を基準として、全国的に主食用米の作付が適正に調整されたことから、米の取引価格は平成30年度指標値(平成28年度実績)より上昇したものの、大区画ほ整備促進事業において、西部工区の工事施工により、87ヘクタールで作付ができなかったことが要因です。			 <p>(百万円)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H26</td><td>208</td></tr> <tr><td>H27</td><td>225</td></tr> <tr><td>H28</td><td>153</td></tr> <tr><td>H29</td><td>180</td></tr> <tr><td>H30</td><td>153</td></tr> <tr><td>H31</td><td>180</td></tr> <tr><td>R02</td><td>271</td></tr> </table>				年度		実績値	H26	208	H27	225	H28	153	H29	180	H30	153	H31	180	R02	271
年度	実績値																							
H26	208																							
H27	225																							
H28	153																							
H29	180																							
H30	153																							
H31	180																							
R02	271																							

指標 ②	作付面積			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき															
	成果	業務取得	上がると良い																					
			農政課	ha	250	166	231	265	 (横ばい)															
評価	(状況) 平成31年度は231haで、平成30年度より65ha増加していますが、後期基準値より19ha減少しています。 (原因) 平成30年度に中部・東部工区の一部区域を除き工事が完了し、平成31年度から作付が再開されたことが要因です。			 <p>(ha)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H26</td><td>250</td></tr> <tr><td>H27</td><td>245</td></tr> <tr><td>H28</td><td>166</td></tr> <tr><td>H29</td><td>170</td></tr> <tr><td>H30</td><td>166</td></tr> <tr><td>H31</td><td>231</td></tr> <tr><td>R02</td><td>265</td></tr> </table>				年度		実績値	H26	250	H27	245	H28	166	H29	170	H30	166	H31	231	R02	265
年度	実績値																							
H26	250																							
H27	245																							
H28	166																							
H29	170																							
H30	166																							
H31	231																							
R02	265																							

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 担い手の育成と経営安定化

基本事業 02 生産性が高い農業経営基盤の整備

基本事業 03 地産地消の推進

基本事業01 担い手の育成と経営安定化

指標①	農業生産組織数(累計)			単位	基準値(H26)	実績値(H30)	実績値(H31)	目標値(R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	農政課	組織	0	4	4	6
評価	目標値は平成28年度を初年度とする5年間の累計(実績値も同様の考え方)				(組織)				
	<p>(状況)平成31年度は平成30年度と同数の4組織で、後期基準値より4組織増加しています。</p> <p>(原因)ほ場整備事業の進捗に伴い、農地の集約化は進んでいるものの、生産組織のない地区においては、個人経営体が多く、組織化が進んでいないことが要因です。</p>				<p>目標達成度 (低)</p>				

基本事業01 担い手の育成と経営安定化

指標②	担い手農業者数			単位	基準値(H26)	実績値(H30)	実績値(H31)	目標値(R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	農政課	人	38	61	61	60
評価	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方)				(人)				
	<p>(状況)平成31年度は平成30年度と同数の61人で、後期基準値より23人増加しており、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因)担い手農業者が継続して営農できていることが要因です。</p>				<p>目標達成度 (達成)</p>				

基本事業02 生産性が高い農業経営基盤の整備


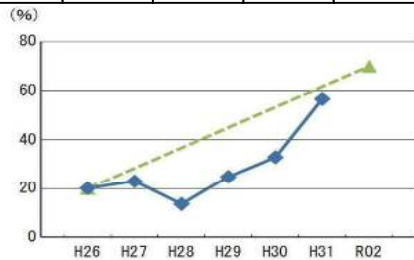

指標①	ほ場整備面積(累計)			単位	基準値(H26)	実績値(H30)	実績値(H31)	目標値(R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	農政課	ha	0	263	283	283
評価	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方)				(ha)				
	<p>(状況)平成31年度において全ての面的整備が完了したことにより、累計整備面積が283haとなっています(整備計画:平成27~令和2年度)。</p> <p>(原因)ほ場整備事業による農業生産基盤の整備(面的整備・ハード事業)が順調に進んだことが要因です。</p>				<p>目標達成度 (達成)</p>				

基本事業02 生産性が高い農業経営基盤の整備


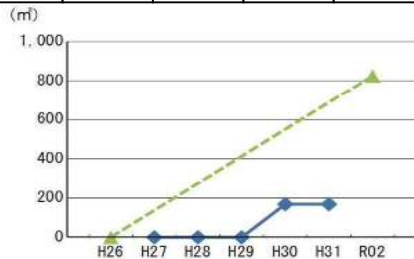

指標②	宝堰用水路整備延長(累計)			単位	基準値(H26)	実績値(H30)	実績値(H31)	目標値(R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	農政課	km	0	1.5	2.2	2.2
評価	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方)				(km)				
	<p>(状況)平成31年度において0.7kmの水路整備が完了し、全線供用開始したことにより、累計整備延長は2.2kmとなっています(整備計画:平成28年~31年度)。</p> <p>(原因)計画どおり整備が順調に進んだことが要因です。</p>				<p>目標達成度 (達成)</p>				

□基本事業の成果状況と評価


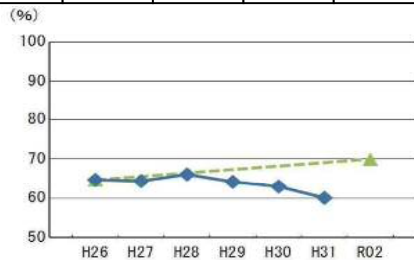

基本事業02 生産性が高い農業経営基盤の整備

指標 ③	農地集積率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	業務取得	上がると良い							
			農政課	%	20.1	32.9	56.7	70	 (向上)	
評価	担い手耕作面積/ほ場整備対象農用地面積									目 標 達 成 度   (高)

基本事業02 生産性が高い農業経営基盤の整備

指標 ④	新たな園芸施設の設置面積（累計）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	業務取得	上がると良い							
			農政課	m <sup>2</sup>	0	168	168	825	 (横ばい)	
評価	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方)									目 標 達 成 度   (低)

基本事業03 地産地消の推進

指標 ①	地元農産物を購入したことがある市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	市民アンケート	上がると良い							
			農政課	%	64.7	63	60.1	→	 (横ばい)	
評価	(状況) 平成31年度は60.1%で、平成30年度より2.9%ポイント、後期基準より4.6%ポイント減少していますが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 65歳以上の高齢者の購入割合が減少したことが要因と考えられます。									目 標 達 成 度   (低)



政策 05 集い つながり 活気あふれるまち

施策 02 商工業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
商工業者、商工業団体、勤労者、就職希望者	商工業が活性化し、雇用の拡大が図られています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市内総生産額(第二次産業)			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い						
	指標は2か年前の県統計実績値。過年度修正生じる場合あり			億円	379	352	299	-	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 平成31年度(平成29年度実績)は299億円で、平成30年度(平成28年度実績)より53億円減少し、後期基準値より80億円減少しています。</p> <p>(原因) 平成30年度(平成28年度実績)と比較すると、製造業の落ち込みが、主な要因です。</p>								目標 達成度
									---

指標 ②	市内総生産額(第三次産業※公務除く)			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い						
	指標は2か年前の県統計実績値。過年度修正生じる場合あり			億円	-	1,064	1,061	-	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況) 平成31年度(平成29年度実績)は1,061億円で、平成29年度(平成27年度実績)の1,062億円より1億円、平成30年度(平成28年度実績)より3億円減少しています。</p> <p>(原因) 事業者数は業種により若干の増減がみられるものの、ほぼ横ばいで推移していることが、主な要因です。</p>								目標 達成度
									---

指標 ③	有効求人倍率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い						
	塩釜公共職業安定所管内における当該年度3月時点の率			倍	0.87	1.14	0.97	-	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況) 平成31年度は0.97倍で、平成30年度より0.17ポイント減少し、後期基準値より0.1ポイント増加しています。</p> <p>(原因) 全国的な動向として新型コロナウイルス感染症の影響により求人数が減少したことが要因と考えられます。</p>								目標 達成度
									---

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 地域商業の活性化

基本事業 02 企業の経営支援

基本事業 03 雇用・就労の支援

基本事業01 地域商業の活性化

指標 ①	市内の小売・飲食業者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い	店	608	549	531	—	☁️ (横ばい)
評価				(店)					目標 達成度
	<p>(状況) 平成31年度は531店で、平成30年度より18店、後期基準値より77店減少しています。 (原因) 新規店舗が8店増加したものの、平成30年度と比較し18店舗減少しており、東日本大震災による工場地帯の従業者数の減少に伴う飲食店利用者の減少による廃業や、事業承継者不足等も要因と考えられます。</p>								—

基本事業01 地域商業の活性化

指標 ②	食料品や日用品を市内で買う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	%	90.9	90.8	90.9	➔	☀️ (横ばい)
評価				(%)					目標 達成度
	<p>(状況) 平成31年度は90.9%で、平成30年度より0.1ポイント増加し、後期基準値を達成しています。 (原因) 市内のスーパーマーケットや大型商業施設が充実しているため、市外へ行かなくても食料品や日用品を購入出来る環境が整っていることが要因と考えられます。ただし、商店街や商店での購入は10%未満となっています。</p>								■■■ (高)

基本事業01 地域商業の活性化

指標 ③	市内の飲食店を利用する市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	%	56.1	54	55	➔	☁️ (横ばい)
評価				(%)					目標 達成度
	<p>(状況) 平成31年度は55%で、平成30年度より1.0ポイント増加、後期基準値より1.1ポイント減少しています。市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲内です。 (原因) 平成30年度と比較すると20歳代及び30歳代の市内飲食店の利用割合が増加しています。多賀城駅前で開催される多様なイベントが定着し、賑わいの創出が図られ、認知されてきたことが市内飲食店の利用に繋がっていることも要因の1つと考えられます。</p>								■■ (低)

基本事業02 企業の経営支援

指標 ①	市内の事業者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い	事業者	1,713	1,666	1,644	—	☁️ (横ばい)
評価				(事業者)					目標 達成度
	<p>(状況) 平成31年度は1,644事業者で、平成30年度より22事業者、後期基準値より69事業者減少しています。 (原因) 震災復興も進み、業種により増加に転じたものもみられますが、後期基準値に満たないのは、事業主の高齢化・後継者不足等が要因と考えられます。</p>								—

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 雇用・就労の支援

指標 ①	地域職業相談室の就職者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	人	975	796	710		1,050
評価	<p>(状況) 平成31年度は710人で、平成30年度より86人、後期基準値より265人減少しています。                      (原因) 相談件数(平成30年度5,391件、平成31年度5,056件)及び紹介件数(平成30年度3,295件、平成31年度3,241件)が減少しているため、就職者数も減少していることが要因です。また、相談室以外の媒体等(就職情報サイト等)を利用して就職している人が増えていることも、要因の1つと考えられます。</p>									目 標 達 成 度  (低)






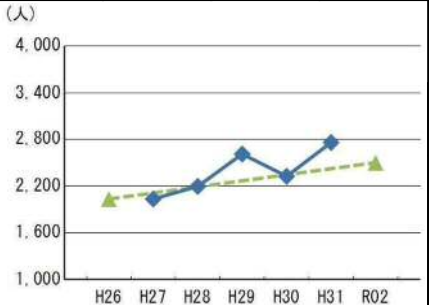
政策 05 集い つながり 活気あふれるまち


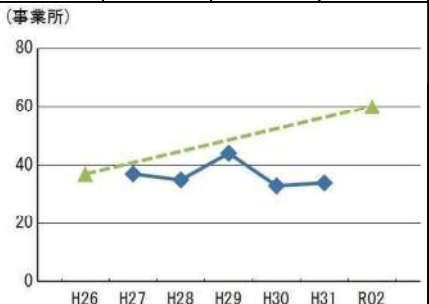
施策 03 企業誘致の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
進出を希望する企業、業務拡大を目指す既存企業	市内に新規立地する企業が増加し、雇用が拡大しています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	市内製造業の従業者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い						
	商工観光課			人	2,035	2,325	2,757	2,500	 (向上)
	指標は2か年前の実績値								
評 価	(状況) 平成31年度(平成29年度実績)は2,757人で、平成30年度(平成28年度実績)より432人、後期基準値より722人増加しています。 (原因) 東日本大震災の影響で従業員数が減少していましたが、復旧・復興が進展し、近年は従業員数が増加していることが要因です。								

指標 ②	市内製造業者数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い						
	商工観光課			事業所	37	33	34	60	 (横ばい)
	指標は2か年前の実績値								
評 価	(状況) 平成31年度(平成29年度実績)は34事業所で、平成30年度(平成28年度実績)より1事業所増加していますが、後期基準値より3事業所減少しています。 (原因) 全国的な景気の影響により、事業所数は若干の増加がみられるものの、ほぼ横ばいで推移していることが要因です。								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 津波復興拠点への企業誘致

基本事業 02 企業進出の促進

基本事業01 津波復興拠点への企業誘致

指標 ①	津波復興拠点の立地面積率（さんみらい多賀城・復興団地）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	%	0	64	94	100
評価	(状況) 平成31年度は94.0%で、平成29年度より30.0ポイント増加しています。立地事業者数の累計は、平成27年度2社、平成28年度6社、平成29年度8社、平成30年度9社、平成31年度11社となっています。 (原因) 立地事業所数の順調な増加が要因です。								(向上) 目標達成度 (高)

基本事業02 企業進出の促進

指標 ①	新たに立地した事業所数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	上がると良い	商工観光課	事業所	92	85	73	100
評価	(状況) 平成31年度は73事業所で、平成30年度より12事業所、後期基準値より19事業所減少しております。 (原因) 平成28年に市街地再開発ビルが竣工したことにより、多賀城駅周辺に賑わいが創出され、新たな事業所がすでに進出し、企業の新規進出の動きが少なくなっていることが要因と考えられます。								(横ばい) 目標達成度 (低)

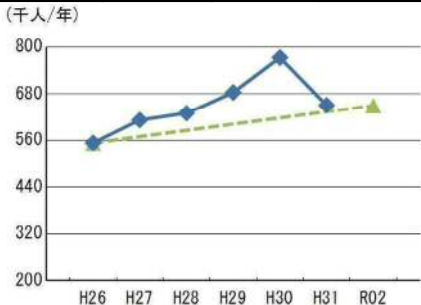

政策 05 集い つながり 活気あふれるまち

施策 04 観光の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市全域、市内外からの来客者	多賀城市に来る観光客が増加し、イベント等での賑わいが増えています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	観光客入込数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	千人/ 年	553	773	651	650
評価	(状況) 平成31年度は651千人で、平成30年度より122千人減少していますが、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成30年度に開催された「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」とその関連イベントが終了したことや、雨天及び台風の影響によりイベントが中止となったことが要因と考えられます。				(千人/年) 			目標 達成度  (達成)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 多賀城市のPR

基本事業 02 観光推進団体等への支援

基本事業 03 観光しやすいまちへの環境整備

基本事業01 多賀城市のPR

指標①	観光協会のホームページアクセス数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	件/年	105,436	80,708	90,751	120,000
評価	平成31年度から指標の取り方を変更しています。				(件/年)				
	<p>(状況) 平成31年度は90,751件で、平成30年度より10,043件増加しています。多賀城市観光協会において、平成31年度からアクセス数の取得方法を変更しており、後期基準値との比較検討はできない状況です。</p> <p>(原因) 情報収集の手段としてFacebookを活用する方が増えてきたことから、平成28年度に観光協会Facebookを開設し、イベント等情報の発信についてはホームページ中心からFacebook中心に変更しています。</p>								

基本事業01 多賀城市のPR

指標②	観光PRに係るキャンペーン及び物販等の実施回数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	商工観光課	回/年	16	31	24	20
評価	(状況) 平成31年度は24回で、平成30年度より7回減少していますが、後期基準値より8回増加しており、後期目標値を達成しています。				(回/年)				
	(原因) 県主催による誘客キャラバンや各種イベントでの物販などが台風の影響により中止となったことが要因です。								

基本事業01 多賀城市のPR

指標③	観光関連情報のマスメディアの掲出件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	件/年	—	123	97	20
評価	(状況) 平成31年度は97件で、平成30年度より26件減少していますが、平成28年度の92件より5件増加しており、後期目標値を達成しています。				(件/年)				
	(原因) 平成30年度に開催された「東大寺と東北～復興を支えた人々の祈り」とその関連イベントが終了したことが要因と考えられます。								

基本事業02 観光推進団体等への支援

指標①	市民主体の誘客イベント数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	件/年	10	17	18	30
評価	(状況) 平成31年度は18件で、平成30年度より1件、後期基準値より8件増加しています。				(件/年)				
	(原因) 台風や新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが中止となったものの、毎年実施しているイベントに加え、新たなイベントを実施したことが要因です。								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 観光推進団体等への支援

指標 ②	主体的に誘客イベントを行っている団体数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	商工観光課	団体	10	11	11	10	
評価	(状況) 平成31年度は11団体で、後期基準値より1団体増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) これまで誘客イベントを行っている団体が継続してイベントを実施していることが、要因と考えられます。近年は、それぞれの団体のイベントを合同で実施する動きも見られます。								目標達成度 (達成)	

基本事業03 観光しやすいまちへの環境整備

指標 ①	観光しやすいまちへの整備件数（累計）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	商工観光課	件	143	165	165	150	
評価	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方) (状況) 平成31年度は165件で、後期基準値より22件増加しており、後期目標値を達成しています。 (原因) 観光サイン整備計画に基づき計画的に施工していることが要因です。								目標達成度 (達成)	

基本事業03 観光しやすいまちへの環境整備

指標 ②	観光客の満足度				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	課独自調査	上がると良い	商工観光課	%	—	48.7	53.2	→	
評価	(状況) 平成31年度は53.2%で、平成30年度より4.5ポイント、平成28年度の44.8%より8.4ポイント増加しており、横ばいです。 (原因) 観光サインの修繕等により、観光客にとって「観光しやすいまち」になっていることが要因と考えられます。								目標達成度 (高)	

# 政策6

心がかよう地域の絆を育むまち

<地域経営分野>

---

---

**政策 06 心がかよう地域の絆を育むまち**

**施策 01 地域コミュニティの充実**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
自治会・町内会、自治会・町内会のリーダー、市民	自治会・町内会の活動が活発に行われ、暮らしやすい地域になっています。

**施策の成果状況と評価**

指標 ①	自治会・町内会活動に参加している市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	29	25.3	29.3	
評価	(状況) 平成31年度は29.3%で、平成30年度より4.0ポイント、後期基準値より0.3ポイント増加しましたが、ほぼ横ばいで推移しています。 (原因) 年齢別では75歳以上が43.8%で最も多くなっています。60歳未満の参加割合も平成30年度に比べて増加しているものの、20代と50代の参加割合が低くなっています。仕事をしており、小中学生の子どもがいない世代については、自治会・町内会や子ども会の活動に関わる機会が少ないことが要因と考えられます。								(横ばい)
					目標達成度 (達成)				



□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 自治会・町内会活動の啓発
基本事業 02 自治会・町内会への支援
基本事業 03 自治会・町内会活動支援施設の整備
基本事業 04 地域経営の基盤構築
基本事業 05 共生社会の推進

基本事業01 自治会・町内会活動の啓発

指標①	自治会・町内会活動の必要性を理解している市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	37.6	42.2	43.2	→
評価	(状況) 平成31年度は43.2%で、平成30年度より1.0ポイント、後期基準値より5.6ポイント増加しています。 (原因) 年齢別において60歳以上で50%を超えていることが要因です。39歳以下でも微増しているものの、30%以下の割合となっており、「わからない」という答えも多いことから、自治会・町内会がどのような活動を行っているかを知っていただく必要があると考えられます。								(横ばい) 目標達成度 (達成)

基本事業01 自治会・町内会活動の啓発

指標②	自治会・町内会加入率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	%	—	88.8	85.1	90
評価	平成29年度から指標の取り方を変更しています。 (状況) 平成31年度は85.1%で、平成30年度より3.7ポイント減少しています。 (原因) 自治会・町内会活動の必要性が分からないという方の割合が39歳以下で3割を超えていることが要因と考えられます。								(横ばい) 目標達成度 (低)

基本事業02 自治会・町内会への支援

指標①	自治会・町内会活動に対する行政からの支援メニューを活用した地域数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	代替	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	自治会等	19	29	33	46
評価	(状況) 平成31年度は33自治会等で、平成30年度より4自治会等、後期基準値より14自治会等増加しています。 (原因) 高齢化の進展に伴い、生活習慣病予防などの健康に関する講座の活用が多くなっていることが要因と考えられます。								(向上) 目標達成度 (低)

基本事業03 自治会・町内会活動支援施設の整備

指標①	自治会・町内会活動を行うための場所が充足していると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	44.7	48.4	45.4	→
評価	(状況) 平成31年度は45.4%で、平成30年度より3.0ポイント減少し、後期基準値より0.7ポイント増加しています。 (原因) 平成22年度からの地区集会所整備補助金の増額や、被災地域交流拠点整備事業補助により地区集会所の整備が進んだことが要因と考えられます。一方で、20代から30代の約4割が「わからない」と答えていることから、地区集会所等を利用したことがない方が多いと考えられます。								(横ばい) 目標達成度 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 自治会・町内会活動支援施設の整備

指標 ②	安全性や利便性が改善された活動拠点数(累計)			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	箇所	24	39	43	35
評 価	目標値は令和2年度までの累計(実績値も同様の考え方) (状況) 平成31年度は43か所で、平成30年度より4か所、後期基準値より19か所増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 平成22年度からの地区集会所整備補助金の増額及び被災地域交流拠点整備補助の活用により、地区集会所の修繕が進んでいることが要因と考えられます。			(箇所) 					

基本事業04 地域経営の基盤構築

指標 ①	多様な主体(他の町内会、NPO、企業等)との広域連携等により地域課題解決に取り組み、効果が現れた自治会・町内会の数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課	団体	9	18	18	23
評 価	(状況) 平成31年度は18団体で、平成30年度と同数ですが、後期基準値より9団体増加しています。すでに取組を始めている高橋地区では、4地区の合同により自立的・活発な町内会活動が行われており、広域連携の効果が現れます。 (原因) 令和2年度からの行政区長制度見直しへの対応を優先的に行う必要があったことが、新たな取組を始める自治会・町内会が無かった要因と考えられます。			(団体) 					

基本事業05 共生社会の推進

指標 ①	性別や国籍等で差別されず、人権が尊重されるまちだと思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	54.7	55.2	55.7	→
評 価	(状況) 平成31年度は55.7%で、平成30年度より0.5ポイント増加、後期基準値より1.0ポイント増加しており、横ばいです。安心して暮らせるまちだと思う市民の割合は、性別や年代での大きな差異は見られません。 (原因) 市民活動サポートセンターや多賀城市国際交流協会と協力した取組を進めていることが要因の1つと考えられます。また、多様性の尊重が社会的な要請となり、それが広く認知されてきていることも要因と考えられます。			(%) 					




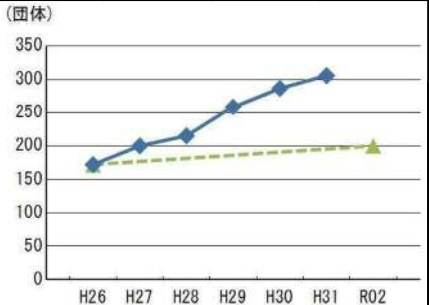

政策 06 心がかよう地域の絆を育むまち


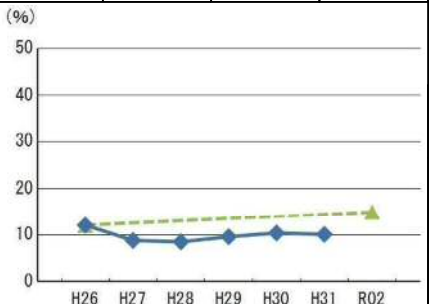

施策 02 市民活動の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民活動団体、市民活動を実践している市民、市民（個人を含む多賀城市を構成する多様な主体）、市職員	市民による自主・自発的な活動が活発に行われています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	団体情報ファイルに登録されている市民活動団体数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	地域コミュニティ課						
	各年度末現在の数値。登録団体数は近隣二市三町の団体を対象				団体	172	287	306	200	 (向上)
評価	(状況) 平成31年度は306団体で、平成30年度より19団体、後期基準値より134団体増加し、後期目標値を達成しています。 (原因) 市民活動サポートセンターの相談対応や事業への参加を経て活動を始めたり、施設の認知度が向上し施設を活用する団体が増えたことが要因と考えられます。								 目 標 達成度 (達成)	

指標 ②	NPO活動やボランティア活動等の市民活動を行っている市民割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課						
					%	12.1	10.4	10.1	→	 (横ばい)
評価	(状況) 平成31年度は10.1%で、平成30年度より0.3ポイント、後期基準値より2.0ポイント減少しています。 (原因) 市民活動への参加率は60歳以上で10%を超えているものの、20～60歳の現役世代での参加率が低いことが要因です。「今後参加してみたい」と答えている市民の割合は50%を超えていることから、仕事をしながらも参加できる機会の創出や活動の周知を行うことが参加率の向上に繋がると考えられます。								 目 標 達成度 (低)	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 市民活動の啓発

基本事業 02 市民活動団体への支援

基本事業 03 市民協働実践のための職員育成

基本事業01 市民活動の啓発

指標①	市民活動に参加したいと思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	49.3	49.9	53.8	→
評価	<p>(状況) 平成31年度は53.8%で、平成30年度より3.9%ポイント、後期基準値より4.5%ポイント増加しています。                  (原因) 50歳以上で、現在市民活動に参加している人と今後参加してみたい人を合わせた割合が50%を超えています。市民活動の社会的な浸透や災害時のボランティア活動などを通じて、関心を持つ市民が増えていることが要因と考えられます。</p>								目標達成度
									(横ばい) (達成)

基本事業02 市民活動団体への支援

指標①	市の支援が役立っていると思う市民活動実践者割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	課独自調査	上がると良い	地域コミュニティ課	%	62.7	60.5	66.1	→
評価	<p>(状況) 平成31年度は66.1%で、平成30年度より5.6%ポイント、後期基準値より3.4%ポイント増加しています。                  (原因) 市民活動サポートセンターを利用する際の環境や設備が適切に維持されているとともに、当該施設の職員の対応についても利用者から高い評価を得ていることが要因と考えられます。</p>								目標達成度
									(横ばい) (達成)

基本事業03 市民協働実践のための職員育成

指標①	市民参画や協働を日常業務で実践している職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	20.2	22.2	23	→
評価	<p>(状況) 平成31年度は23%で、平成30年度より0.8%ポイント、後期基準値より2.8%ポイント増加しており横ばいです。                  (原因) 「趣旨は理解しているが業務で実践できていない、どう業務に組み込んでいいかわからない」と答えた職員の割合が70.2%となっていることが要因です。趣旨を理解している職員は9割を超えていることから、各担当業務の中で具体的に協働を進めていくための取組が必要だと考えられます。</p>								目標達成度
									(横ばい) (低)

基本事業03 市民協働実践のための職員育成

指標②	市民参画や協働の趣旨を理解している職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	90.4	90.8	93.2	→
評価	<p>(状況) 平成31年度は93.2%で、平成30年度より2.4%ポイント、後期基準値より2.8%ポイント増加しています。                  (原因) これまで実施してきた職員研修等により、市民参画や協働の趣旨の理解が、組織的に定着していることが要因と考えられます。一方で、日常業務で実践している職員割合は、ほぼ横ばいで推移しているため、理解をさらに定着させるとともに、実践に移すための取組が必要だと考えられます。</p>								目標達成度
									(横ばい) (達成)

政策 06 心がかよう地域の絆を育むまち

施策 03 開かれた市政の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
市民及び市内事業者(多賀城市に 関心のある市外の者を含む。)	市民の市政への関心が高まっています。 市民が行政との間で適切に情報が共有されています。

施策の成果状況と評価

指標	市政に関心がある市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い						
①				%	71.2	66.3	68.4	→	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況) 平成31年度は68.4%で、平成30年度より2.1ポイント増加しています。後期基準値より2.8ポイント減少していますが、ほぼ横ばいで推移しています。年齢が上がると、特に65歳を超えると、まちづくりへの関心が高くなっていく傾向があります。</p> <p>(原因) 仕事をしている現役世代や子育て世代が、市政への関心やまちづくりに興味を持つ機会が少ないことが要因と考えられます。</p>								目標 達成度
									■ (低)
指標	市民と行政との間で市政情報(地域情報、行政情報)が適切に共有されていると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い						
②				%	89.6	90.9	90.2	→	☀ (横ばい)
評価	<p>(状況) 平成31年度は90.2%で、平成30年度より0.7ポイント減少していますが、後期基準値より0.6ポイント増加しており、ほぼ横ばいで推移しています。</p> <p>(原因) 年齢による大きな差異はないことから、各年齢層に応じた適切な情報発信(広報多賀城、市ホームページ、SNS)や広聴機会(おぼんです懇談会など)が成果の維持につながっている要因と考えられます。</p>								目標 達成度
									🏰 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 適切な情報の発信

基本事業 02 適切な情報の収集

基本事業01 適切な情報の発信

指標 ①	市政情報が適切に提供されていると思う市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	94	94.6	94		→
評価	(状況) 平成31年度は94.0%で、平成30年度より0.6ポイント減少、後期基準値と同じ数値で、ほぼ横ばいです。 (原因) 広報多賀城、市ホームページ、SNSそれぞれの特性を生かした情報発信を行ったことにより、市民に適切な情報発信を行えていることが、要因と考えられます。									(横ばい) 目標達成度 (達成)

基本事業02 適切な情報の収集

指標 ①	市政に対する市民の意見・声を伝える場や機会に満足している市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	市民アンケート	上がると良い	地域コミュニティ課	%	80.7	83.6	82.8		→
評価	(状況) 平成31年度は82.8%で、平成30年度より0.8ポイント減少していますが、後期基準値より2.1ポイント増加しており、ほぼ横ばいです。 (原因) 市民の声(さざんか提言箱)の他に、平成26年度のホームページ作成の管理システム(GMS)導入によりメールでの問合せの環境が整ったことが要因と考えられます。									(横ばい) 目標達成度 (達成)





# 政策7

理解と信頼で進める自律したまち

＜行政経営分野＞

---

**政策 07 理解と信頼で進める自律したまち**

**施策 01 適正な事務の執行とサービスの提供**

**施策のプロフィール**

施策の対象	施策の意図
市民、事業者、行政	行政事務が適正に執行され、市民サービスが提供されています。

**施策の成果状況と評価**

指標 ①	窓口における市民サービスに満足している市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき  目標 達成度  (達成)
	成果	市民アンケート	上がると良い	総務課	%	85.2	89	88.7	
評価	(状況) 平成31年度は88.7%で、平成30年度より0.3ポイント減少、後期基準値より3.5ポイント増加していますが、市民アンケートによる指標であり、統計誤差の範囲内です。 (原因) 行政事務が適正に執行された結果と考えられます。								(横ばい)  目標 達成度  (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 適正な契約事務の執行
基本事業 02 適正な会計事務
基本事業 03 適正な選挙事務
基本事業 04 公正な監査事務
基本事業 05 保有情報の適正な管理

基本事業01 適正な契約事務の執行

指標①	工事成績調書の評価点数が75点以上の割合				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	管財課	%	56	88.5	67.2	65	
評価	(状況) 平成31年度は67.2%であり、平成30年度より21.3ポイント減少していますが、後期基準値より11.2ポイント増加しています。 (原因) 年度毎の実績値に高低はありますが、受注者の技術力及び品質確保の向上、発注者の適切な施工監理・監督が向上の要因と考えられます。									(横ばい) 目標 達成度 (達成)

基本事業02 適正な会計事務

指標①	例月出納検査時に指導された件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	会計課	件/年	1	11	7	0	
評価	(状況) 平成31年度は7件で、平成30年度より4件減少しましたが、後期基準値より6件増加しています。 (原因) 審査確認体制の見直しに取り組んだものの、審査確認が十分でなかったことが要因と考えられます。									(低下) 目標 達成度 (高)

基本事業03 適正な選挙事務

指標①	選挙に関する事務処理ミス・トラブル件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	選挙管理委員会事務局	件/年	0	0	0	0	
評価	(状況) 平成31年度は0件でした。 (原因) 事務従事職員説明会で職員への教育を重点的に実施したことが要因の1つと考えられます。									(横ばい) 目標 達成度 (達成)

基本事業03 適正な選挙事務

指標②	この1年間に行われた各種選挙の投票率（県議会議員）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	その他	選挙管理委員会事務局	%	40.4	—	35.97	—	
評価	(状況) 令和元年10月27日執行の宮城県議会議員一般選挙の投票率は35.97%で、前回(平成27年10月25日執行)の同選挙(40.38%)より4.41ポイント、後期基準値より4.43ポイント減少しています。 (原因) 市民の政治・社会に対する関心が低くなってきていることが要因の1つと考えられます。									目標 達成度

□基本事業の成果状況と評価

基本事業03 適正な選挙事務

指標 ③	この1年間に行われた各種選挙の投票率（市議会議員）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	その他	選挙管理委員会事務局	%	43.9	—	—	—	— 目 標 達成度 —
評 価	(状況) 立候補届出者数が市議会議員の定数18人を超えなかったことから、無投票となりました。									

基本事業03 適正な選挙事務

指標 ⑥	この1年間に行われた各種選挙の投票率（参議院）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	社会	業務取得	その他	選挙管理委員会事務局	%	54.1	—	51.94	—	— 目 標 達成度 —
評 価	(状況) 令和元年7月21日執行の参議院議員通常選挙の投票率は51.94%で、前回(平成28年7月10日執行)の同選挙(53.97%)より2.03ポイント、後期基準値より2.16ポイント減少しています。 (原因) 市民の政治・社会に対する関心が低くなってきていることが要因の1つと考えられます。									

基本事業04 公正な監査事務

指標 ①	定期監査時に指摘した事項数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	下がると良い	監査委員事務局	件/年	149	61	138	90	☀️ (横ばい) 目 標 達成度 ■ (低)
評 価	市の全部署を対象に財務及び事務事業の執行について年1回行う監査 (状況) 平成31年度は138件で、平成30年度より77件増加していますが、後期基準値より11件減少しています。 (原因) 平成30年度との比較では、主に収入事務関係及び文書事務関係に係る内容が増加したことが要因です。後期基準値との比較では、指摘事項への措置状況の報告を求めていることで、一定の事務改善が促されていることが要因と考えられます。									

基本事業04 公正な監査事務

指標 ②	例月出納検査時に指摘した事項数（上水道部を含む）				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	代替	業務取得	下がると良い	監査委員事務局	件/年	1	11	14	0	☔️ (低下) 目 標 達成度 ■ (低)
評 価	会計管理者・水道事業管理者の現金出納事務を毎月検査するものです。 (状況) 平成31年度は14件で、平成30年度より3件、後期基準値より13件増加しています。 (原因) 出納審査事務の誤り増加が、主な要因です。									

□基本事業の成果状況と評価

基本事業05 保有情報の適正な管理

指標①	情報漏えい事件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	総務課						
					件/年	0	0	1	0	
評価	(状況) 平成31年度は1件です。 (原因) 元水道事業管理者による工事の予定価格漏えいが必要因です。 元水道事業管理者が官製談合防止法違反及び公契約関係競売等妨害罪の容疑で起訴されたことを受けて、「多賀城市入札・契約のあり方等に関する検討委員会」を設置して適正な入札契約のあり方を検討したほか、公正な事務執行に資するため「多賀城市倫理規則」及び「多賀城市コンプライアンス推進指針」を制定しました。今後も、職場内研修やOJTを継続的に行うことで、情報漏えいが発生しない適正な事務執行に取り組みます。				(件/年) 				☔ (低下)	
									目 標 達成度	

基本事業05 保有情報の適正な管理

指標②	個人情報開示請求に対する決定に変更のあった件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	総務課						
					件/年	0	0	0	0	
評価	(状況) 平成31年度は0件で、後期基準値を維持しています。 (原因) 各課等において、個人情報保護制度を理解し、開示請求者に対して適切な説明を行うなど、適正な事務処理に努めている成果と考えられます。				(件/年) 				☀ (横ばい)	
									目 標 達成度	

基本事業05 保有情報の適正な管理

指標③	公文書開示請求に対する決定に変更のあった件数				単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	総務課						
					件/年	9	0	0	0	
評価	(状況) 平成31年度は0件です。 (原因) 各課等において、情報公開制度を理解し、開示請求者に対して適切な説明を行うなど、適正な事務処理に努めている成果と考えられます。				(件/年) 				☀ (横ばい)	
									目 標 達成度	

政策 07 理解と信頼で進める自律したまち

施策 02 組織・人事マネジメント

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
職員	人材育成がなされ、職員の能力が向上し、十分に発揮されています。

施策の成果状況と評価

指標	組織・職員が、市民・地域の問題や行政課題に関し、迅速かつ適切に対応できていると思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	職員アンケート	上がると良い						
①			総務課	%	—	76.8	71.9	➔	☀ (横ばい)
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。								☀ 目標 達成度
	(状況) 平成31年度は71.9%で、平成30年度より4.9ポイント減少していますが、平成27年度の70.7%より1.2ポイント増加し、横ばいで推移しています。主事・主査級の職員における割合は平成29年度から引き続き増加しています。 (原因) 行政評価・育成評価の各制度の着実な運用により、業務に対する職員の目的意識が明確化され、課題解決行動に繋がっていることが要因と考えられます。								■ (低)
②			総務課	%	—	73.2	71.6	➔	☁ (横ばい)
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。								☁ 目標 達成度
	(状況) 平成31年度は71.6%で、平成30年度より1.6ポイント、平成27年度の71.8%より0.2ポイント減少していますが、後期目標値の70%を達成しています。 (原因) おおむね業務の連携・協力が行われていることが要因と考えられます。								🏰 (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 効果的・効率的な組織づくり
基本事業 02 効果的な人材育成と適正な人事管理
基本事業 03 安全衛生への対処

基本事業01 効果的・効率的な組織づくり

指標①	組織間・組織内連携が十分に図られていると思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	市長公室	%	—	63	54.9	→
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。								
	(状況) 平成31年度は54.9%で、平成30年度より8.1ポイント減少していますが、平成27年度の52.3%より2.6ポイント増加と、全体的には横ばいで推移しています。 (原因) 主事・主査級、係長級などを対象とした研修を実施しており、組織を超えた活動を通して横の連携が図られるように取り組んでいることが要因と考えられます。								

基本事業01 効果的・効率的な組織づくり

指標②	類似団体平均職員数との差異(普通会計修正値)			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	業務取得	下がると良い	市長公室	人	-2	43	42	0
評価	平成28年度から類似団体区分が変更となっています。								
	(状況) 平成31年度は42人で、平成30年度より1人減となっています。国勢調査の結果により平成28年度から多賀城市の類似団体区分が変更され、後期基準値との比較検討はできない状況です。 (原因) 部門別にみると、現在ほ場整備事業等に取り組んでいるために重点配置している文化財、農林水産部門が、類似団体と比較して最も超過率が高くなっています。また、衛生、税務部門等育児休業取得職員の補てんを行っているため超過傾向にあります。								

基本事業01 効果的・効率的な組織づくり

指標③	自分の課で業務の引継ぎ、異動者の早期戦力化の仕組みができていると思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	市長公室	%	—	68.6	68.6	→
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。								
	(状況) 平成31年度は平成30年度と同じ68.6%と横ばいですが、平成27年度の66.6%より2.0ポイント増加しています。 (原因) 大量退職時代を踏まえて、各課ではそれぞれ業務のマニュアル化等に取り組んできましたが、近年、新たな行政課題の複雑化や突発的な対応を求められる事案が増加していることが横ばいの要因の1つと考えられます。								

基本事業02 効果的な人材育成と適正な人事管理

指標①	適材適所の人事配置がなされていると思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	—	57.8	55.1	→
評価	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。								
	(状況) 平成31年度は55.1%で、平成30年度より2.7ポイント、平成27年度の57.5%より2.4ポイント減少し、横ばいで推移しています。 (原因) 育成評価や上下評価等により、職員の適性或今後のキャリアアップ等を考慮して、人事配置を行う努力をしているものの、大量退職期の大幅な異動に伴い、各職員が自らの能力や個性を最大限に発揮できていないと感じていることが要因と考えられます。								

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 効果的な人材育成と適正な人事管理

指標 ②	人材育成により能力が向上したと思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	73.6	79.5	76.2	➔	
評価	<p>(状況) 平成31年度は76.2%で、平成30年度より3.3ポイント減少していますが、後期基準値より2.6ポイント増加し、横ばいで推移しています。</p> <p>(原因) 日常業務を通じた自らの学習や、上司・先輩等からのOJT等による育成環境が機能していることが要因と考えられます。</p>									(横ばい) 目標 達成度 (高)

基本事業03 安全衛生への対処

指標 ①	健康で安心して働くことができると思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	職員アンケート	上がると良い	総務課	%	82.1	75.1	69.5	➔	
評価	<p>(状況) 平成31年度は69.5%で、平成30年度より5.6ポイント、後期基準値より12.6ポイント減少しています。係長級及び主事・主査級の職員で平均を下回り、順調ではありません。</p> <p>(原因) 各職員における業務量バランスに偏りがあること、対人折衝によるストレス等が原因と考えられます。</p>									(低下) 目標 達成度 (低)

基本事業03 安全衛生への対処

指標 ②	公務災害の発生件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき	
	成果	業務取得	下がると良い	総務課	件/年	2	6	7	0	
評価	<p>(状況) 平成31年度は7件で、平成30年度より1件増加しています。通常業務中に発生した公務災害は5件、通勤途中での発生が2件でした。転倒など、本人の注意不足による災害が発生しています。</p> <p>(原因) それぞれの公務災害において、本人及び所属長への注意喚起が十分でなかったことも要因の1つと考えられます。</p>									(低下) 目標 達成度 (低)





政策 07 理解と信頼で進める自律したまち

施策 03 効果的・効率的な行財政経営の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策の意図
職員、市民、組織	行財政経営が効果的・効率的に行われ、まちづくりの目標が達成されています。

施策の成果状況と評価

指標 ①	施策目標の達成率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い						
			市長公室	%	-	46	49	50	
	指標のうごき及び目標達成度は統計的観点から評価しません。								
評価	<p>(状況) 平成31年度は49.0%(20指標)で、平成30年度の46.0%(19指標)と比較すると横ばいですが、平成28年度の39.0%(16指標)より10.0ポイント増加しており、順調に推移しています。</p> <p>(原因) 政策3「歴史・文化を継承し豊かな心を育むまち」の達成指標が平成28年度0指標より3指標増加していることが、主な要因です。生涯学習活動が学びや交流の場として活用されていることや支援員の活用などによる教育環境の充実が図られていることが、要因の1つと考えられます。</p>								---

指標 ②	効果的・効率的なまちづくりが進められていると思う職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	職員アンケート	上がると良い						
			市長公室	%	-	75.1	68.1	→	
	平成27年度からアンケート指標の取り方を変更しています。								
評価	<p>(状況) 平成31年度は68.1%で、平成30年度より7.0ポイント減少していますが、平成27年度の67.4%より0.7ポイント増加し、横ばいです。職位別では係長級以上が81.5%である一方で、主事・主査級は64.7%となっています。年齢別では50代以上が83.5%と最も高い数値となっています。</p> <p>(原因) 行政評価システムを活用した行財政経営について、係長級以上で一定の理解が得られていることが要因の1つと考えられます。財政状況が厳しく、中・長期的な行財政経営の展望が見えにくいことが大きな伸びにつながらない要因と考えられます。</p>								(横ばい)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業 01 成果志向に基づく行政経営の推進

基本事業 02 健全財政の維持

基本事業 03 公共建築物の管理活用

基本事業 04 公平で公正な課税と収納率向上

基本事業 05 IT技術を活用した行政サービスの充実

基本事業01 成果志向に基づく行政経営の推進

指標①	基本事業目標の達成率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき	
	成果	業務取得	上がると良い	市長公室	%	—	52	50	45	—
評価	指標のうごき及び目標達成度は統計的観点から評価しません。									目標達成度
	<p>(状況) 平成31年度は50.0%(100指標)で、平成30年度の52.0%(104指標)より2.0ポイント減少していますが、平成28年度の39.0%(80指標)より11.0ポイント増加しています。後期目標値を達成しており、順調に推移しています。</p> <p>(原因) 政策2「元気で健やかに暮らせるまち」の指標が、平成28年度13指標より8指標増加していることが、主な要因です。健康づくりの推進や社会保障の充実に関する事業を展開していることが、効果に繋がっている要因と考えられます。</p>									—

基本事業01 成果志向に基づく行政経営の推進

指標②	行政評価の考え方を意識して事業を推進している職員割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき	
	成果	職員アンケート	上がると良い	市長公室	%	75.9	83.6	81.2	→	☀️ (向上)
評価	指標のうごき及び目標達成度は統計的観点から評価しません。									目標達成度
	<p>(状況) 平成31年度は81.2%で、平成30年度より2.4ポイント減少していますが、後期基準値より5.3ポイント増加しており、順調です。職位別では、主事・主査級が73.6%で平成30年度の75.5%より1.9ポイント減少していますが、係長級以上では80%を超える高い水準となっています。</p> <p>(原因) 次期総合計画策定に向けた準備が進む中で、行政評価への意識が高まり、理解が進んだことが要因と考えられます。</p>									☀️ (達成)

基本事業02 健全財政の維持

指標①	基礎的財政収支（プライマリーバランス）			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき	
	成果	業務取得	上がると良い	市長公室	百万円	3,156	4,026	4,189	0	☀️ (向上)
評価	目標値は0以上。(歳入決算額-市債借入額)-(歳出決算額-市債償還額)									目標達成度
	<p>(状況) 平成31年度は4,189百万円で、後期基準値より1,033百万円増加し、平成30年度より163百万円増加しています。</p> <p>(原因) 中心市街地の市有地売却に伴って、大きな額の市債の繰上償還を行ったことが、要因です。</p>									☀️ (達成)

基本事業02 健全財政の維持

指標②	実質公債費比率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標のうごき	
	成果	業務取得	下がると良い	市長公室	%	11.7	8.1	6.7	9.6	☀️ (向上)
評価	指標のうごき及び目標達成度は統計的観点から評価しません。									目標達成度
	<p>(状況) 平成31年度は6.7%で、平成30年度より1.4ポイント、後期基準値より5.0ポイント減少しており、後期目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 平成30年度よりも市債償還に充当できる都市計画税等の財源額が増加したことにより、算定式の分子となる公債費充当一般財源等額が減ったことが、要因です。</p>									☀️ (達成)

□基本事業の成果状況と評価

基本事業02 健全財政の維持

指標 ③	経常収支比率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	市長公室	%	104.4	101.9	101.9	95.6
評価	<p>(状況) 平成31年度は101.9%で、平成30年度と同値となっており、後期基準値より2.5ポイント減少しており、横ばいです。 (原因) 税収等が増となったことにより算定式の分子となる経常経費充当一般財源が平成30年度と比較して55百万円増となったものの、下水道事業特別会計における市債償還に充当する繰出金が増となったことにより算定式の分母となる経常一般財源総額が平成30年度と比較して57百万円増となったため、増減が生じませんでした。</p>							<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>(低)</p>	

基本事業03 公共建築物の管理活用

指標 ①	市有建築物の維持管理上の事故件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い	管財課	件/年	0	0	0	0
評価	<p>(状況) 平成31年度における市有建築物の維持管理上発生した事故件数は0件となっており、後期目標値を達成しています。 (原因) 事故件数0件を目標とし、自主定期点検報告を受け、施設の予防保全を強化してきたことが要因と考えられます。</p>							<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>	

基本事業03 公共建築物の管理活用

指標 ②	計画的な修繕の達成率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い	管財課	%	100	25	90	100
評価	<p>施設整備計画で当該年度に改修予定の施設数に対する改修実施施設数 (状況) 平成31年度は、計画で10施設を予定していたところ、9施設の整備となり、達成率は90.0%となっています。予定施設のうち主な未実施の施設は、文化センター本館の改修です。 (原因) 平成28年度策定が多賀城市公共施設等総合管理計画に沿った計画的な修繕を実施しています。国費の未配分やプールの整備計画に検討を要することとなったため、計画どおりに改修が進まない状況です。</p>							<p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>(低)</p>	

基本事業04 公平で公正な課税と収納率向上

指標 ①	行政不服審査申立により、課税誤りがあると認定された件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	その他	税務課	件/年	0	0	0	0
評価	<p>(状況) 平成31年度も0件で、後期目標値を達成しています。適正な課税となるよう努めているため、これまで行政不服審査法により課税誤りと認定された事案はありません。 (原因) 0Jの実践や外部研修など、職員の業務遂行能力の向上を図り、適正な課税事務に努めてきました。また、納税通知書発送時には、各種税制度等を説明するチラシを同封するなど、課税の根拠等についてより分かりやすい説明に努めてきたことが、要因と考えられます。</p>							<p>---</p> <p>目標達成度</p> <p>---</p>	

□基本事業の成果状況と評価

基本事業04 公平で公正な課税と収納率向上

指標 ②	市税等の収納率			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	上がると良い						
評価	税目:市市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、都市計画税			%	96.8	98.04	97.93	96.5	 (横ばい) 目標達成度  (達成)
	(状況) 平成31年度は97.93%で、平成30年度より0.11%ポイント減少していますが、後期基準値より1.13%ポイント増加しています。現年度分が99.05%で、平成30年度より0.14%ポイント減少していますが、滞納繰越分が36.94%で、平成30年度より1.9%ポイント増加しています。 (原因) 差押え等の滞納処分を強化する一方、生活困窮者には執行停止・欠損等を行うなど、滞納者の状況に応じた適切な滞納整理を実施したことが要因と考えられます。								

基本事業04 公平で公正な課税と収納率向上

指標 ③	滞納件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い						
評価	税目:市市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、都市計画税			件	4,658	3,204	3,358	4,500	 (横ばい) 目標達成度  (達成)
	(状況) 滞納件数は3,358件で、平成30年度より154件増加していますが、後期基準値より1,300件減少しています。 (原因) 滞納者の状況等に応じた適切な滞納整理と早期の納税勧奨を実施していることが要因と考えられます。								

基本事業05 IT技術を活用した行政サービスの充実

指標 ①	市のITサービスを利用している市民割合			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	市民アンケート	上がると良い						
評価				%	49.2	48.4	53.1	→	 (横ばい) 目標達成度  (高)
	(状況) 平成31年度は53.1%で、平成30年度より4.7%ポイント、後期基準値より3.9%ポイント増加していますが、市民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。 (原因) 震災に係る情報収集手段として市ホームページ等が利用された平成23年度の58.6%をピークに下降傾向にありましたが、平成27年度に持ち直し以後は横ばいの状態にあることが要因です。								

基本事業05 IT技術を活用した行政サービスの充実

指標 ②	ネットワーク・システムのダウン件数			単位	基準値 (H26)	実績値 (H30)	実績値 (H31)	目標値 (R02)	指標の うごき
	成果	業務取得	下がると良い						
評価				件/年	0	0	0	0	 (横ばい) 目標達成度  (達成)
	(状況) 平成31年度は0件で、適切な保守運用管理が実施できています。 (原因) 平成29年度に実施した通信回線の強化により、安定したネットワーク利用ができています。								

